

南城市地域公共交通再編実施計画の見直し

令和5年1月

南 城 市

1 .Nバスの計画見直し

1.1 Nバス見直し内容の整理

- 令和5年4月に9系統の見直しを行います。路線の延長が変わるのは、C1、C2、D2、F3、Gの5系統で、C1、C2、D2、F3系統は延長が0.3km増、G系統は0.7km減となります。
- C1、C2、D2、F3、G系統の見直しにより、令和4年の見直しで通行しなくなった「堀川橋バス停」、「堀川バス停」を再び経由するようになります。一方、今回の見直しで通行しなくなるバス停はありません。

表 1.Nバスの見直し内容

系統名	見直し内容
A1/A2	国道331号の拡幅整備に伴い、一部のバス停を統合
	通勤・通学需要に対応するため早朝・夜間便の時刻の見直し
B1/B2	国道331号の拡幅整備に伴い、一部のバス停を統合
	通勤・通学需要に対応するため早朝・夜間便の時刻の見直し
C1/C2	利便性向上を図るため、堀川区経由にルートを変更するとともに、向陽高校最寄りの「向陽高校前バス停」に乗り入れ
D2	利便性向上を図るため、堀川区経由にルートを変更するとともに、向陽高校最寄りの「向陽高校前バス停」に乗り入れ
F3	利便性向上を図るため、堀川区経由にルートを変更するとともに、向陽高校最寄りの「向陽高校前バス停」に乗り入れ
G	利便性向上を図るため、向陽高校最寄りの「向陽高校前バス停」に乗り入れ



系統名	区分	延長			便数(平日)			便数(土日祝)		
		再編前	再編後	増減	再編前	再編後	増減	再編前	再編後	増減
A1/A2	普通便	29.5	29.5	±0	15	15	±0	16	16	±0
	急行便	25.7	25.7	±0	6	6	±0	4	4	±0
B1/B2	普通便	25.1	25.1	±0	14	14	±0	15	15	±0
	急行便	22.7	22.7	±0	5	5	±0	5	5	±0
	通学便	27.5	27.5	±0	1	1	±0	0	0	±0
C1/C2	—	33.5	33.8	+0.3	16	16	±0	15	15	±0
D2	—	21.2	21.5	+0.3	4	4	±0	0	0	±0
F3	—	27.7	28.0	+0.3	1	1	±0	0	0	±0
G	—	21.4	20.7	-0.7	1	1	±0	0	0	±0

1.2 見直し路線の経費の試算

- 今回の見直しで延長が変更となる C1、C2、D2、F3、G 系統の運行経費を試算しました。
- 支出を試算した結果、延長の見直し距離が短いこともあり、各路線とも年間の経費は見直し前後で差はなく、C1・C2 系統が 28,200 千円/年、D2 系統が 3,100 千円/年、F3 系統が 1,000 千円/年、G 系統が 800 千円となります。
- 見直し路線の運行経費に変化がないことから、N バス全体の収支も変化がなく、年間収入が 45,300 千円、年間支出が 96,000 千円、年間収支が 50,700 千円、収支率 47%となります。

表 2.2023 再編に伴う N バス (C1/C2、D2、F3、G 系統) の経費の変化

系統	区分	距離	便数			年間便数	年間運行キロ	燃料使用量 (ℓ)	燃料代 (千円)	運転手人件費 (千円)	車両費 (千円)	計 (千円)
			平日	土曜日	日祝日							
C1/C2	2022	33.5	16	15	15	5,721	191,654	4,128	4,128	14,053	10,025	28,200
	2023	33.8	16	15	15	5,721	193,370	4,165	4,165	14,037	9,985	28,200
	増減	0.3	0	0	0	0	1,716	37	37	-16	-40	0
D2	2022	21.2	4	0	0	984	20,861	3,209	449	1,539	1,090	3,100
	2023	21.5	4	0	0	984	21,156	3,255	456	1,559	1,104	3,100
	増減	0.3	0	0	0	0	295	46	7	20	14	0
F3	2022	27.7	1	0	0	246	6,814	1,048	147	504	357	1,000
	2023	28	1	0	0	246	6,888	1,060	148	506	358	1,000
	増減	0.3	0	0	0	0	74	12	1	2	1	0
G	2022	21.4	1	0	0	246	5,264	810	113	387	274	800
	2023	20.7	1	0	0	246	5,092	783	110	376	266	800
	増減	-0.7	0	0	0	0	-172	-27	-3	-11	-8	0
計	2022	104	22	15	15	7197	224,593	9,195	4,837	16,483	11,746	33,100
	2023	104	22	15	15	7197	226,506	9,263	4,879	16,478	11,713	33,100
	増減	0.2	0	0	0	0	1,913	68	42	-5	-33	0

※運転手人件費、車両費は、全体の経費を各系統の年間運行キロで案分しています。

表 3.2023 再編に伴う N バス全体の収支の変化

系統名	年度	年間収入 (千円)	年間支出 (千円)	年間収支 (千円)	収支率
A1: 佐敷・知念・百名線	2022	18,900	32,900	▲ 14,000	57%
A2: 百名・知念・佐敷線	2023	18,900	32,900	▲ 14,000	57%
B1: 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線	2022	7,200	26,300	▲ 19,100	27%
B2: つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	2023	7,200	26,300	▲ 19,100	27%
B3: つきしろ線	2022	200	600	▲ 400	33%
	2023	200	600	▲ 400	33%
C1: 玉城・大里線	2022	12,100	28,200	▲ 16,100	43%
	2023	12,100	28,200	▲ 16,100	43%
D1: 玉城東回り線	2022	900	1,800	▲ 900	50%
	2023	900	1,800	▲ 900	50%
D2: 玉城東周り線 (向陽高校経由)	2022	1,700	3,100	▲ 1,400	55%
	2023	1,700	3,100	▲ 1,400	55%
F1: 玉城西回り線	2022	200	700	▲ 500	29%
	2023	200	700	▲ 500	29%
F2: 玉城西回り線 (玉城こども園経由)	2022	200	600	▲ 400	33%
	2023	200	600	▲ 400	33%
F3: 玉城一周線 (玉泉洞経由)	2022	400	1,000	▲ 600	40%
	2023	400	1,000	▲ 600	40%
G: 向陽高校線 (大里経由)	2022	100	800	▲ 700	13%
	2023	100	800	▲ 700	13%
回数券	2022	3,400	0	3,400	
	2023	3,400	0	3,400	
計	2022	45,300	96,000	▲ 50,700	47%
	2023	45,300	96,000	▲ 50,700	47%

2 路線バスの計画見直し

2.1 路線バスの見直し内容の整理

- 令和5年2月20日の見直しで、系統37番は、平日が49便から43便へと6便、休日が33便から30便へと3便減便となります。
- 系統38番は、休日は3便のままですが、平日が7便から6便へと1便減便となります。
- 系統338番は、平日は8便から7便へと1便の減便ですが、休日は12便から5便の7便減便と多くの便が減便となります。
- なお、今回の見直しでルートや停車バス停の見直しはありません。

表 4. 路線バスの見直し内容

系統	区間	延長*			便数(平日)			便数(土日祝)		
		再編前	再編後	増減	再編前	再編後	増減	再編前	再編後	増減
37番	那覇BT～南城市役所	3.3	3.3	±0	39	33	▲6	30	28	▲2
	那覇BT～馬天営業所	3.0	3.0	±0	10	10	±0	3	2	▲1
	計	—	—	—	49	43	▲6	33	30	▲3
38番	那覇BT～志喜屋	15.7	15.7	±0	7	6	▲1	3	3	±0
338番	那覇BT～斎場御嶽	10.9	10.9	±0	8	7	▲1	12	5	▲7

※延長は、南城市内区間のみ

2.2 見直し路線の経費の試算

- 便数の見直しにより、系統37番の運行経費は、11,700千円/年から10,300千円/年へと1,400千円/年減、38番系統は、7,300千円/年から6,500千円/年へと800千円/年減、338系統は、8,400千円/年から5,700千円/年へと2,700千円/年減少します。
- 3系統全体では、4,900千円/年の減となります。

表 5. 路線バスの運行経費の変化

系統	区分	区間	距離	便数		年間便数	運行経費(千円)
				平日	休日		
37番	2022	那覇BT～南城市役所	3.3	39	30	13,164	9,800
		那覇BT～馬天営業所	3.0	10	3	2,817	1,900
		計		49	33	15,981	11,700
	2023	那覇BT～南城市役所	3.3	33	28	11,450	8,500
		那覇BT～馬天営業所	3.0	10	2	2,698	1,800
		計		43	30	14,148	10,300
増減		0.0	-6	-3	-1,833	-1,400	
38番	2022	那覇BT～志喜屋	15.7	7	3	2,079	7,300
	2023	那覇BT～志喜屋	15.7	6	3	1,833	6,500
	増減		0.0	-1	0	-246	-800
338番	2022	那覇BT～斎場御嶽	10.9	8	12	3,396	8,400
	2023	那覇BT～斎場御嶽	10.9	7	5	2,317	5,700
	増減		0.0	-1	-7	-1,079	-2,700
計	2022			64	48	21,456	27,400
	2023			56	38	18,298	22,500
	増減			-8	-10	-3,158	-4,900

2.3 .路線バスの収支の変化

●系統 37 番、38 番、338 番の見直しにより、支出が 4,900 千円/年減少、収支が 4,900 千円/年改善され、収支率は 159%から 167%に向上すると試算されます。

表 6.路線バスの収支の変化

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)			収支率		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減
37番系統	15,500	15,500	0	11,700	10,300	▲ 1,400	3,800	5,200	1,400	132%	150%	18%
38番系統	23,900	23,900	0	7,300	6,500	▲ 800	16,600	17,400	800	327%	368%	40%
338番系統	26,800	26,800	0	8,400	5,700	▲ 2,700	18,400	21,100	2,700	319%	470%	151%
39番系統	28,300	28,300	0	8,200	8,200	0	20,100	20,100	0	345%	345%	0%
339番系統	5,000	5,000	0	3,300	3,300	0	1,700	1,700	0	152%	152%	0%
40番系統	13,500	13,500	0	15,100	15,100	0	▲ 1,600	▲ 1,600	0	89%	89%	0%
309番系統	9,000	9,000	0	12,000	12,000	0	▲ 3,000	▲ 3,000	0	75%	75%	
51番系統	13,000	13,000	0	15,200	15,200	0	▲ 2,200	▲ 2,200	0	86%	86%	
50番系統	23,900	23,900	0	14,300	14,300	0	9,600	9,600	0	167%	167%	0%
36番系統	700	700	0	5,000	5,000	0	▲ 4,300	▲ 4,300	0	14%	14%	0%
琉球バス交通	36,900	36,900	0	29,500	29,500	0	7,400	7,400	0	125%	125%	0%
沖縄バス	56,500	56,500	0	43,600	43,600	0	12,900	12,900	0	130%	130%	0%
東陽バス	66,200	66,200	0	27,400	22,500	▲ 4,900	38,800	43,700	4,900	242%	294%	53%
計	159,600	159,600	0	100,500	95,600	▲ 4,900	59,100	64,000	4,900	159%	167%	

3 .全体の収支

●全体の収支は、路線バスの支出が 4,900 千円/年改善されることで、30,600 千円/年の赤字から、25,700 千円/年の赤字に改善されます。

表 7.全体の収支の変化

	収入			支出			収支		
	2022年度	2023年度	増減	2022年度	2023年度	増減	2022年度	2023年度	増減
支線バス	45,300	45,300	0	96,000	96,000	0	▲ 50,700	▲ 50,700	0
幹線バス	159,600	159,600	0	100,500	95,600	▲ 4,900	59,100	64,000	4,900
デマンド交通	5,300	5,300	0	44,300	44,300	0	▲ 39,000	▲ 39,000	0
計	210,200	210,200	0	240,800	235,900	▲ 4,900	▲ 30,600	▲ 25,700	4,900